

社会科（地理的分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	○○○○○ ○○○○○	発行者番号 発行者名
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解できるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <p>○分野の学習において課題（問い）を設定し、その課題（問い）の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるように、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○資料の配置、数、種類などに、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○事例の選択、資料の取り上げ方など、学習効果を高めるために、どのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）に、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

社会科（地理的分野）調査資料 1 - 1

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい社会 地理</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きで1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「チェック&トライ」の流れで構造化し、学習内容を定着できるように工夫されている。 ○資料の読み取りなどの地理学習の基礎的な技能を系統的に習得する「スキル・アップ」と、身に付けた技能を活用するコーナーを設け、定着できるように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の章末部には「ベン図」「ウェビング」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるように工夫されている。 ○1単位時間の学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、全編を通して「地理的な見方・考え方」を意識して学習できるように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の諸地域の学習の導入や各州のまとめ、コラム「未来にアクセス」、「持続可能な地域の在り方」の学習等で「持続可能な開発目標」を取り上げ、現代的な諸課題を意識・理解しながら、学習を進められるように工夫されている。 ○「持続可能な地域の在り方」の学習では、学習していたことを振り返りながら、地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充実させ、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるよう工夫されている。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入部で単元全体を貫く「探究課題」を立て、「まとめの活動」でその解決を補助する「探究のステップ」に取り組むことで、課題解決的な学習ができるように工夫されている。 ○小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」や「導入の活動」、「まとめの活動」などを設け、対話的な学習を実践することによってより深い学びにつながるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「もっと知りたい」「もっと解説」「未来に開設」を掲載し、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。 ○導入・展開・まとめの学習段階に応じて、多彩なQRコードが設けられ、学習効果が高まるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての文字に、UDフォントを使用している。色覚特性がある生徒にも見やすい色が使用されている。難解な用語について、巻末に用語解説を設けている。 ○見開きページごとに学習課題が設けられている。導入部、展開部、終結部の形で構造化されたレイアウトとなっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入の活動」で単元全体を貫く「探究課題」を立て、1単位時間ごとに「学習課題」を解決し、思考ツールを使った「まとめの活動」で「探究課題」を解決するという学習の流れで構成されている。 ○他分野と関連している資料や特設ページには、「分野関連マーク」が設定され、歴史・公民や他教科との関連を図った学習が展開できるように工夫されている。 	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学社会 地理 地域にまなぶ</h2>	<div style="text-align: center;">17</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きで1単位時間を原則とすることで学習の見通しが立てやすく、本文と資料とのバランスを考え、資料を読み解く手掛かりを示す工夫がされている。 ○生徒の興味・関心を広げる学習コラム「地理の窓」や地理的な技能が確実に定着するコーナー「地理の技」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせた学びができるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三分野間の関連箇所を示すことで、各分野それぞれの「見方・考え方」の違いに気付かせ、更に深い総合的な理解へ導く工夫がされている。 ○「身近な地域の学習」では、生徒自らが地域調査に臨めるような工夫だけでなく、地域の伝統文化を大事にしている事例や、地域で進んでいる多文化共生の事例を取り上げ、学習を深めていく工夫がされている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界・日本地誌では、地域で進んでいる多文化共生の姿や地域の伝統文化を大事にしている事例を取り上げ、これからの社会の在り方に関連付けて考察することができるよう工夫されている。 ○「地域のあり方」の単元における地域の課題の見つめ直しや課題の解決方法の考察、「特設・クロスワード」で取り上げられる話題についての考察を通して、社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を養えるよう工夫されている。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○章の学習を見通す「導入ページ」、「本時ページ」、章・節の学習を振り返る「学習のまとめと表現」、視点を変えて学習内容を捉え直す「特設ページ」と単元が構造化されており、「問い」を軸にして課題解決的に追究していくよう工夫されている。 ○「確認／表現」コーナーでは、学習したことの整理や表現活動を行うことで1時間の学習を振り返り、生徒が他者と意見交流したり、自ら学び、自ら考える学習に取り組んだりすることにより、学びが深まるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や地図、グラフ等が大きく提示され、地理への興味・関心が高まるように工夫されている。 ○世界地誌の学習では、SDGsの17の開発目標と関連する地球的課題を扱っており、持続可能な視点を意識しながら学習が進むように工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字はUDフォントによる黒文字を使用している。難解な用語や補足説明の必要な箇所について、側注・巻末に用語解説を設けている。 ○見開きページごとに学習課題が設けられている。本文と資料の関連を番号で示すことで、本文と資料が結びつきやすくなるよう工夫されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○導入部で「学習の見通し」や「見方・考え方」を提示し、学習の見通しが立てやすく、各章末での「学習のまとめと表現」では、基礎・基本の定着や意見をまとめて表現し話し合う活動を行い、段階的に学習が進められるように工夫されている。 ○三分野の学びを関連付けるために「関連マーク」が設定されており、三分野の学びを関連させ、系統的な学習が展開できるように工夫されている。 	

書名 項目	<h1>社会科 中学生の地理</h1>	4 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">帝 国</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きの1単位時間を、導入、学習課題、本文、「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識及び技能が理解できるよう工夫されている。 ○資料の読み取りやグラフの作成等の力を伸ばすために「技能をみがく」のコーナーが設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できるように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真や図版、本文が密接に関連しているため、地理的事象の背景や因果関係を読み取ることができ、「地理的な見方・考え方」を自然と働かせられるよう工夫されている。 ○各章・節末の「学習を振り返ろう」では、章・節の学習で得た知識を生かして、「地理的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考ツールを用いて、自分の考えを整理・構造化できるように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コラム「未来に向けて」が掲載され、持続可能な社会を実現するための人々の取組を示すことで、SDGsへの関心を高め、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができるよう工夫されている。 ○「地域のあり方」の単元では、地域の課題の分析とその解決に向けた構想に取り組むことで課題を「自分ごと」として捉え、主体的に社会参画する態度を養えるよう工夫されている。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く「章・節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、単元の最後の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化されており、課題解決的な学習ができる構成になるよう工夫されている。 ○「アクティブ地理」において、地域に見られる課題を考察し、解決への取組を考えるパフォーマンス課題が設定されており、学習した知識・技能を多面的・多角的に活用することができるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○現地の人の「声」では様々な立場の人の考えが紹介されており、地理への興味・関心が喚起されるように工夫されている。 ○学習内容の習得や調べ学習を支援するコンテンツが設けられており、生徒の個別最適な学びを支援できるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字はUDフォントを使用している。用語解説や関連資料について、本文のページの側注に設けている。 ○学習内容の変化や関連性を考察しやすいよう、写真や地図、雨温図などの位置が固定化されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に「単元を貫く問い」が設けられており、学習の見通し・振り返り活動の基本的な流れが示され、見通しをもった学習活動につながるよう工夫されている。 ○「関連マーク」で三分野や他教科と関わりや、「地図帳活用マーク」で地図帳も活用した学習を行い、より深い学びが得られるように工夫されている。 	

書名 項目	<h1>中学社会 地理的分野</h1>	116 日 文
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きで1単位時間とし、学習課題が明示されている。基礎的な知識及び技能の定着をねらいとした「確認」コーナーや「表現」コーナーが設けられ、文章化・言語化できるように工夫されている。 ○スキルUPでは、地理的分野の学習に必要な地理的技能を6種類に整理し、生徒の発達段階に応じて地理的技能を系統立てて習得できるように工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トライ・スキルUP・資料活用のコーナーで、思考力、判断力、表現力等の向上を図る場面を設定し、随所で生徒が自分の言葉で表現できるように構成されている。 ○まとめと振り返りでは、習得した知識を活用し、生徒が単元を貫く問いについて自分の考えをまとめ、「議論してみよう」で地理的な諸課題について考察したことを論理的に説明したりするなど、言語活動に関わる学習ができるように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の諸地域や日本の諸地域の章（節）の最後にある「議論してみよう」や「持続可能な地域を目指して」のコラムの設置など、教科書全体を通して持続可能な社会について考えることができるよう工夫されている。 ○教科書全体を通して、現代的な諸課題や伝統・文化、多様性などについて世界や日本で「今」起きている出来事を掲載しており、多様な地理的事象に対する理解を深めることができるよう工夫されている。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入ページで単元全体を貫く探究課題を立て、「まとめと振り返り」のページでは、その解決を補助する思考ツールの活用や段階を踏まえた思考の整理に取り組むことで、課題解決的な学習ができるように工夫されている。 ○「資料活用コーナー」や「議論してみよう」など、読み取ったことを発表し合う場面や、生徒の多様な回答が可能な問いや活動に「学び合いマーク」がつけられており、主体的・対話的な活動ができるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や地図、グラフ等を大きく掲載することで、地図への興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ICT機器を活用して利用できる「教科書QRコンテンツ」が設けられ、学習効果が高まるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字はUDフォントを使用している。巻末に用語解説を設け、地理的用語を5種類に区分して解説している。 ○見開きページごとに学習課題を設けている。導入資料、学習課題、本文図版、確認等が統一されたレイアウトで配置されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入の活動」で単元を貫く「問い」を立て、1単位時間ごとに「学習課題」を解決し、単元の終わりには「まとめと振り返り」が設けられ、基礎・基本の定着と学習内容を深められるよう構成が工夫されている。 ○章の導入ページや「連携コーナー」で小学校での既習事項や他分野の内容を掲載することで相互に連携・関連させて学習できるように工夫されている。 	

社会科（地理的分野） 調査資料 2

○内容別ページ数等

内容	東書	教出	帝国	日文
A 世界と日本の地域構成	26	20	24	24
(1) 地域構成	26	20	24	24
B 世界の様々な地域	110	106	102	104
(1) 世界各地の人々の生活と環境	24	18	19	18
(2) 世界の諸地域	86	88	83	86
C 日本の様々な地域	136	157	160	163
(1) 地域調査の手法	12	14	12	14
(2) 日本の地域的特色と地域区分	27	26	26	24
(3) 日本の諸地域	86	107	117	114
(4) 地域の在り方	11	10	11	11
索引	8	10	4	8
資料ページ	7	8	11	11
総ページ数※目録に記載されたページ数	293	305	310	318
QRコードの数	132	28	69	152

※総ページ数には、中表紙や巻末資料も含まれているため合計と一致しない。

○地域の取り上げ方

B (2) 「世界の諸地域」で取り上げている主題

	東書	教出	帝国	日文
① アジア	経済発展	急速な経済発展	急速な経済成長	人口や経済発展
② ヨーロッパ	国家間の統合	国々の結びつき	国どうしの結びつき	国境をこえた統合
③ アフリカ	国際的な支援	国際協力や国際支援	特定の産物に頼る経済	自立のための開発と国際協力
④ 北アメリカ	移民と経済	先進的で多様な産業	巨大な産業	世界に影響を与える産業
⑤ 南アメリカ	開発と環境保全	自然破壊と都市の人口増加	農地や鉱山の開発	開発と環境保全
⑥ オセアニア	他地域との結びつき	他地域との関係の強化	他地域との関係	多文化社会

C (1) 「地域調査の手法」で取り上げている地域、主題、調査・まとめ

	東書	教出	帝国	日文
地域	神戸市	名古屋市	東京都練馬区大泉地域	京都市伏見区
主題	防災	防災	人口と農業	産業
調査・まとめ	地形図、空中写真、統計資料、インターネット、文献調査、野外観察、聞き取り調査、ルートマップ、スケッチ、写真、表、図、班による発表	地形図の読み取り・比較、現地の観察、聞き取り調査、統計資料、文献資料、博物館や資料館、主題図やグラフ、イラストマップ、班による発表	野外観察、聞き取り調査、地形図や地図、統計資料、景観写真、インターネット、グラフ、主題図、班による発表	地形図、デジタル地図、野外観察、聞き取り調査、文献資料、統計資料、インターネット、地図、グラフ、レポート、壁新聞、プレゼンテーションソフト、班による発表

C(3)「日本の諸地域」の考察の仕方とページ数 ※ () はページ数

	東書	教出	帝国	日文
九州地方	自然環境 (12)	自然環境とその保全 (14)	自然環境 (16)	自然環境 (16)
中国・四国地方	交通や通信 (12)	人口集中や人口減少 (14)	交通や通信 (16)	交通・通信 (16)
近畿地方	人口や都市・村落 (12)	歴史的な視点 (14)	環境保全 (18)	歴史的背景 (16)
中部地方	産業 (12)	産業 (14)	産業 (16)	産業 (16)
関東地方	交通や通信 (12)	交通・通信 (14)	人口や都市・村落 (16)	人口や都市・村落 (16)
東北地方	生活・文化 (12)	地域の伝統文化と産業の変化 (14)	生活・文化 (16)	持続可能な社会づくり (16)
北海道地方	自然環境 (12)	自然環境と関連する産業 (14)	自然環境 (16)	自然環境 (16)

C(4)「地域の在り方」における地域的な課題の扱い方

	内容
東書	広島市を例に、地域の課題を捉え、将来像を考え、発信する。
教出	水俣市を例に、地域の課題を調査し、その解決方法について考え、伝える。
帝国	神戸市を例に、地域の疑問を調査し、地域の課題や解決策を考え、提案する。
日文	宮崎市を例に、地域の課題を捉え、自分たちにできることを考え、伝える。

○埼玉県の地理的事象 ※県名のみの場合を除く

	内容
東書	過密地域（川口市）と過疎地域（東秩父村）の人口ピラミッド、内陸型の工業地域の写真（久喜市）、高速道路沿いに広がる畑作地域の写真（三芳町）、多くの観光客でにぎわう花畑の写真（秩父市）、近郊農業のコラム（熊谷市）
教出	さいたま新都心の写真（さいたま市）、ブルーベリー狩りを楽しむ観光客の写真（美里町）、首都圏外郭放水路の写真（春日部市）
帝国	川越の町並みのイラスト（川越市）、日本最大級のショッピングセンターの写真（越谷市）、最高気温を示す看板の写真（熊谷市）、首都圏外郭放水路の写真と地図（春日部市）
日文	なし

○北方領土・竹島等の領土に関する記述

	北方	竹島	尖閣	東西南北端	内容
東書	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	<p>〔北方領土〕北海道東方の歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は北方領土とよばれ、根室市などに属する日本固有の領土です。しかし、現在はロシアが不法に占拠しており、日本は抗議を続けています。</p> <p>〔竹島〕竹島は、島根県隠岐の島町に属し、隠岐諸島の北西、約 150 km に位置する日本固有の領土です。しかし、韓国が不法に占拠しているため、日本は抗議を続けています。</p> <p>〔尖閣諸島〕尖閣諸島は、沖縄県石垣市に属する日本固有の領土で、中心である魚釣島は、石垣島の北、約 170 km に位置します。日本が有効に支配をしているため、領土問題はありますが、中国や台湾が領有権を主張しています。</p> <p>コラム「変化し続ける国土面積（西之島）」コラム「水産資源にめぐまれた竹島」コラム「貴重な自然が残る北方領土」コラム「資源が期待される尖閣諸島」</p>
教出	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	<p>〔北方領土〕北海道の東に位置する歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島を北方領土と呼びます。北方領土は 1945年の第二次世界大戦の終結後にソ連に占領されました。終戦時には北方領土には約17000人の日本人が生活していましたが、強制退去させられました。北方領土はソ連の解体後も現在に至るまで、ロシア連邦によって不法に占拠されています。日本政府は、ロシア連邦政府に対し、日本固有の領土である北方領土の返還を求め続けていますが、いまだに実現されていません。一方で、1992年に始まった北方領土へのビザなし交流など民間での友好的な結びつきは続いています。1922年から続く北方領土へのビザなし交流は2022年9月以降、ロシアにより停止されています。</p> <p>〔竹島〕竹島周辺では、江戸時代の初めから日本人が漁業を行ってきました。1905年に政府は、竹島を閣議決定に基づき島根県に編入し、日本固有の領土としました。1952年以降、韓国が竹島を自国の領土として主張し、現在まで不法に占拠し続けています。日本はこれに抗議を重ねるとともに、国際社会の場での話し合いを提案していますが、韓国は受け入れていません。</p> <p>〔尖閣諸島〕尖閣諸島は、1985年に沖縄に編入された日本固有の領土です。第二次世界大戦後には、アメリカ合衆国の施政の下に置かれましたが、1971年に沖縄返還協定が結ばれ、翌年日本に復帰しました。しかし、1970年代から、周辺海域に埋蔵されているとされる資源をめぐり、中国が領有を主張し始め、2012年、日本は島々の大半を国有化しました。近年、中国船が尖閣諸島周辺の日本の領海や接続水域にたびたび侵入する事態が生じています。</p> <p>写真「面積が拡大した西之島」コラム「日本の最南端をめぐるとの問題」写真「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」年表「北方領土に関する主なできごと」</p>
帝国	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	<p>〔北方領土〕北海道の北東部にある歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は、北方領土とよばれ、北海道根室市などに属する日本固有の領土です。1855年に、日本とロシアの国境を択捉島とウルップ島の間で確認してから、北方領土をほかの国の領土とする条約が結ばれたことはありません。北方領土の近海は水産資源が豊かで、かつて多くの日本人がこれらの島に住んでいました。しかし、北方領土は1945年に、日本との条約を無視して一方的に侵攻してきたソビエト連邦に占領され、日本人は立ちのくかされました。ソビエト連邦は、サンフランシスコ平和条約に署名せず、現在までロシアが不正に占拠した状態となっています。日本は、北方領土の返還に向けてロシアと平和条約を結ぶため、交渉を続けています。</p> <p>〔竹島〕日本海にある竹島は、島根県隠岐の島町に属する日本固有の領土です。17世紀には現在の鳥取県の人々が漁を行っており、1905年に明治政府が島根県への編入を内閣で定めて、自国の領土とする考えを公式に示しました。しかし、サンフランシスコ平和条約で竹島に対する主張を退けられた韓国は、1952年に海洋への権利を唱えて一方的に公海の上に境界を設け、竹島に海洋警察隊や灯台を置いて、不法に占拠しています。日本は国際法に基づいて抗議し、国際司法裁判所での話し合いをたびたび呼びかけていますが、韓国が応じていません。</p> <p>〔尖閣諸島〕東シナ海にある尖閣諸島は、沖縄県石垣市に属する日本固有の領土です。明治政府が、ほかの国の支配が及んでいないことを慎重に確認したうえで、1895年に沖縄県への編入を内閣で定めて、自国の領土とする考えを公式に示しました。その後、一時は島で 200人以上が暮らし、かつおび工場もつくられました。サンフランシスコ平和条約でも、南西諸島の一部として日本の領土とされました。尖閣諸島をほかの国の領土とする条約が結ばれたことはなく、日本政府による管理も及んでいるため、ほかの国との間で解決すべき領有をめぐるとの問題はありません。尖閣諸島では、1960年代には、原油などの資源が周辺の海底にある可能性が注目され、1970年代に入ると、中国などが領有権を主張するようになりました。日本は尖閣諸島を平穏に維持、管理するために、2012年にその大半を国有地化しました。</p> <p>コラム「護岸工事によって守られた沖ノ島」写真「活発な噴火を続ける西之島」写真「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」コラム「漁業が盛んだった昔の竹島」</p>

	北方	竹島	尖閣	東西南北端	内容
日文	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	○ 地図 写真	<p>〔北方領土〕北方領土は、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島からなる日本固有の領土です。面積は合計約5000㎢もあり、福岡県や千葉県とほぼ同じ広さです。日本は18世紀ごろから本格的な開発を始め、1855年の日露通好条約で、日本の領土であることが確認されました。周辺の海域は、こんぶやかにかなどの水産資源が豊富で、かつては多くの日本人が漁業をしながら生活していました。しかし、1945年の第二次世界大戦後にソ連に占領され、ソ連解体後もロシアが不法に占拠しています。ソ連に占領されるたびに、当時住んでいた日本人はふるさとを追われ、現在、北方領土に日本人は住んでいません。日本は、北方領土の返還をロシアに強く要求していますが、いまだに実現していません。</p> <p>〔竹島〕竹島は、本州から約200km 離れた日本海にある日本固有の領土です。竹島周辺は豊かな漁場で、17世紀初めには日本人が漁業などに利用していました。1905年には国際法に従って島根県に編入されました。ところが1952年から、韓国が、一方的に自国の領土であると主張して竹島を取り込み、警備隊員を常駐させたり、施設を作ったりして、不法に占拠しています。日本は、韓国に対して何度も厳重に抗議しています。</p> <p>〔尖閣諸島を取り巻く情勢〕尖閣諸島は、石垣島から約170kmはなれた東シナ海にあります。1895年に日本が自国の領土であることを宣言して、沖縄県に編入しました。また、サンフランシスコ平和条約でも日本の領土とされ、このことに周辺の国々からの反対はありませんでした。その後も、日本固有の領土として管理されてきており、尖閣諸島には領土問題は存在していません。ところが、東シナ海に石油が埋蔵されている可能性が指摘され、1970年代になって、中国が尖閣諸島の領有権を主張するようになりました。最近では中国の船が日本の領海にたびたび侵入してくるため、日本は、中国に厳重に抗議し、領土の保全に取り組んでいます。</p> <p>コラム「沖ノ島島を守るために」地図「北方領土付近の国境の変化」写真「竹島に関する資料を展示する「竹島資料室」」写真「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」写真「北方領土・竹島・尖閣諸島などに関する資料を展示する国立の施設「領土・主権展示館」」</p>

社会科（歴史的分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	○○○○○ ○○○○	発行者番号 発行者名
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解できるように、どのような工夫が見られるか。 ○諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるように、どのような工夫が見られるか。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。 ○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養うために、どのような工夫が見られるか。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分野の学習において課題（問い）を設定し、その課題（問い）の追究のための枠組みとなる多様な視点に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるように、どのような工夫が見られるか。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるために、資料には、どのような工夫が見られるか。 ○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）に、どのような工夫が見られるか。 	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1>新しい社会 歴史</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きを1単位時間とし、ページに導入資料、学習課題が記されている。また、語句の意味を確認するための索引ページが記載されている。 ○学習した知識を活用する「チェック&トライ」が設けられている。また、身に付けた技能を活用するため、「確かめよう」のコーナーが設けられている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○章末「まとめよう」では、ステップチャートやフィッシュボーン図等の思考ツールを活用した学習活動が用いられている。 ○章末の「ふり返ろう」では、探究課題を確認しながら、歴史的な見方・考え方を働かせて思考・判断できるように工夫されている。 ○1単位のまとめ「チェック&トライ」では、学習内容の説明や要約ができるように設問の工夫がされており、自分の言葉で表現できる工夫がされている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1単位時間の学習の流れを分かりやすく視覚的にデザインし、全ての生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ○生徒が主体的に学習に取り組めるように人物コラムを豊富に掲載し、人物を中心とした小学校からの歴史学習との接続が図られている。 <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の導入に小学校の振り返りとグループでの協働的な活動が設けられ、単元全体を貫く「探究課題」を立てて、学習に見通しをもたせるように工夫されている。 ○章末「まとめの活動」では、「探究のステップ」が設けられ、見開きごとの活動が段階的に「探究課題」の解決へとつなげられるように構成されている。 ○「みんなでチャレンジ」では、個人とグループ活動の相互作用で学びを深め、積極的に社会参画したり、他者と協働したりしながら、よりよい社会を築こうとする意識や態度を養えるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や探究の中心となる資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料には、出典・所蔵のほか、資料の大きさが記されている。 ○DマークやQRコードを掲載し、インターネットを使った学習ができるように工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。 ○見開きの右端に時期を示すスケールが入れられている。また、地理や公民の学習と関連が深い内容には、関連マークが付けられている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○各章ごとに「①課題をつかむ」、「②課題を追究する」、「③課題を解決する」というステップが構成されていて、それを基に学習を進められるよう工夫されている。また、「主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる活動・コーナー」等で学習を深めることができるように配慮されている。 	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学社会 歴史 未来をひらく</h2>	<div style="text-align: center;">17 教 出</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、ページに導入資料、学習課題が記されている。また、語句の意味を確認するための索引ページが記載されている。 ○1単位時間の中に「確認！」が設けてあり、学習に必要な知識を身に付けやすくなる工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入資料等に「THINK！」が設けてあり、主体的に考え、表現するための工夫がされている。 ○見開きのまとめ「表現！」では学習内容を自分の言葉で説明し、対話することで、思考を深め、表現できるよう工夫されている。 ○章末の「HOP・STEP・JUMP」では学習した内容を判断して活用する能力を高め、歴史的な見方・考え方を深める工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「歴史学習の終わりに」のページでは社会的な課題の解決に向けてSDGsの目標を参考にテーマを設定する等の工夫がされている。 ○ページの下段には、そのページの学習内容と関わりのある他分野の学習内容を示して、生徒が自発的に学習に取り組みやすいように工夫されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各章の導入「学習のはじめに」では、その時代を象徴するような資料とそれに関わる問いが示され、見通しをもって学習が進められるように工夫されている。 ○本文とは視点を変えて捉え直す「特設ページ」が設けられ、現代社会の諸課題と照らし合わせ、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ○巻末「歴史学習の終わりに ～歴史を振り返って、未来を構想しよう～」では、これからの社会を築いていくため、自分たちには何ができるかを考察・構想し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や探究の中心となる資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。小学校での既習事項を生かせる工夫がされている。 ○教科書とウェブサイトをリンクさせ、学習に役立つ様々な情報を得ることができる「まなびリンク」が設けられている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。 ○見開きに「時代スケール」として学習する時代の範囲を色で表し、小学校で学習した人物・中学校で学習する人物が識別できるように工夫されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○教科書全体を通して、見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすい内容となっており、より深い理解ができるように工夫されている。また高等学校での近現代史中心の「歴史総合」に向けて、通史学習の充実が図られていて、小学校・中学校・高等学校の学びのつながりが意識できるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1>社会科 中学生の歴史</h1>	4 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;"> 帝 国 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題が記されている。また、知識の定着を図るために「確認しよう」が見開きのまとめに設けられている。 ○「地域史」というコラムを通じて、多面的・多角的に歴史を学ぶ工夫がされている。また、「解説」が設けられていて、知識の定着のための工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○章のはじめに設けられた「タイムトラベル」では、資料から判断して、論理的に説明できるよう工夫されている。 ○見開きのまとめにある「説明しよう」では、1単位の学習をまとめ、習得した知識を活用し、自分の言葉で表現できるように工夫されている。 ○章のまとめにある「学習を振り返ろう」では、歴史的な見方・考え方を働かせ、表現・説明することで学びを深められる工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元のはじめに、各時代の政治・経済・文化の内容について、イラストで視覚的に示すことによって生徒が見通しをもてるように工夫されている。 ○地図とイラストによる世界地図「世界とのつながりを考えよう 地図編」では、日本の歴史的な事象や人物が世界の中に位置付けて見られるように提示されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○「章の問い」、「節の問い」、「見開きの問い」（学習課題）と単元のまとまりを見通し・振り返ることで課題解決的な学習、深い学びにつなげられるように工夫されている。 ○「学習を振り返ろう」では、見開きから節、節から章へと段階的に振り返りを行い、学習を積み重ねて課題追究ができるように構成されている。 ○巻末「これからの社会を構想しよう」への準備として、各章で「現在・SDGs」とのつながりを考え、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に吹き出しを付け、学習の手掛かりが示されている。 ○QRコードを読み込むことで、「タイムトラベル」コンテンツにアクセスしたり、学習の理解を助ける動画等を閲覧できたりするように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題と学習内容を確認・説明するための課題が二つ示されている。 ○見開きの右端に「時代インデックス」が掲載され、巻頭の日本の歴史年表・巻末の世界史年表と照らし合わせて確認するように工夫されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○全体を通して、「小学校・地理・公民・他教科の関連」を「小・地・公の関連アイコン」で示すことで既習事項やつながりを確認することができる。また、その時代の舞台の解説や現在との共通点や違いを確認できるので、多面的・多角的な視点をもって学習に入ることができるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1>中学歴史 日本と世界</h1>	81 山 川
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、本文、補足資料が記されている。また、世界史と日本史の関連が多く、歴史の流れをつかめるように記載されている。 ○見開きのまとめ「ステップアップ」では、1単位時間で行った内容を整理し、歴史的知識の定着が図れる構成となっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「地域からのアプローチ」では、資料やグラフから自分の考えを表現させ、歴史的現象を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ○「歴史へのアプローチ」では、1単位時間で行う内容の中で、テーマを絞ることで、歴史的な見方・考え方を深められるよう工夫がされている。 ○章末「まとめ」では時代全体を俯瞰して考えるための問いかけがあり、歴史的な見方・考え方を働かせて、考えを深められるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○見開きのページ内に様々なパターンの発問を提示し、図やグラフ等資料を活用して考察させ、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 ○高等学校の歴史学習とのつながりを意識して、歴史的現象の要因と結果を詳細に記述し、コラムと合わせてより深い理解を出来るように工夫している。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○学習の見通しをもてるように、各章の冒頭に視覚的に歴史の流れをつかめるような資料を用いたり、見開きの冒頭に学習課題が明示されたりしている。 ○「身近な地域を調べよう」では、実際の中学生を想定し、調査の順序や注意事項を示して、生徒が主体的に課題を追究することができるように工夫されている。 ○「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」では、史料の細部をクローズアップしたり、発掘調査の結果を踏まえたりすることで、様々な角度から課題を追究できるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に発問を付け、資料を読み取る視点が示されている。 ○QRコードを付し、博物館・資料館のホームページサイトや動画を見る等、課題を追究した学習ができるように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○地図・グラフ等は、UDに配慮されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と課題追究のための「ステップアップ」の発問が示されている。 ○各章のはじめに、章で学ぶ時代の日本と世界の出来事の帯年表が掲載されている。また、章に関係する写真が上下に分けて時代順に示されている。 ○本文は常体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○歴史を学ぶ力を養うために、豊富で多様な発問で考える力を養えるように工夫されている。また因果関係を重視した詳しい記述や世界の歴史に関する充実した内容となっている。さらに高等学校の歴史学習につながる教科書として中学生の段階として必要なことが身に付くように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1>中学社会 歴史的分野</h1>	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「確認」、「表現」で構成され、「確認」・「表現」では、考えを説明させる問いが示されている。 ○小学校で履修した人物や出来事が欄外に記載され、新たな知識と紐づけるように工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○1単位時間のまとめとして「表現」を行うことで、自分の考えを説明することで学習内容を理解できるよう工夫されている。 ○「チャレンジ歴史」では、習得した知識を生かし、対話することにより、歴史的表現力を高める工夫がされている。 ○各章の振り返りでは、STEP 1から3と分けられていて、思考ツールを活用することで思考、判断、表現ができるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○現代的な諸課題の歴史的な背景や先人の取組に学ぶことができるようにテーマ別コラムや歴史的な事象を掘り下げる特設ページが設けられている。 ○歴史について「考える活動」を充実させるため、資料を読み取り、資料を選択させて生徒の興味に応じた活動ができるような取組が提示されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入では、年表や世界地図を使った時間軸と空間軸から時代を概観し、「単元を貫く問い」を明示して学習の見通しをもてるように工夫されている。 ○歴史の学習の最後「『歴史との対話』を未来に活かす」では、課題の解決に向けて歴史を踏まえて未来を考える学習活動が設けられている。 ○「『歴史との対話』を未来に活かす」や「先人に学ぶ」では、現代の課題の背景や人権、環境、平和、防災、減災への先人たちの取組を学び、解決の手立てについて生徒が歴史を踏まえて考えることができるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料の内容を読み取ったり、読み取ったことを基に表現したりする活動が示されている。 ○教科書内容の理解を助ける動画やワークシート等の教科書QRコンテンツをウェブサイトで公開し、教科書には「デジタルワーク」が表示されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題と手がかり、学習内容を理解するための問いが示されている。 ○見開きの右端に学習している「時代」を色で示した年表が掲載されている。見開きの下部には小学校で学習した人物や地理・公民との連携が示されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○教科書全体を通して、「歴史を楽しく、深く学び、未来を考えるコラム・特設ページ」が設定されており、「人物コラム」「各時代の女性」「地域に学ぶ」「歴史+α」等、時代に沿って学ぶだけではなく、未来のためのヒントや様々な視点で歴史を捉えることができるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい歴史教科書</h1>	225 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自由社</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、ページに導入資料、学習課題が記されている。また、語句の意味を確認するための索引ページが記載されている。 ○学習した知識を活用する「チャレンジ」では、本時で学んだ内容を整理できるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「調べ学習のページ」では、各単元で学習した内容を、資料を基に更に深めることができ、思考・判断・表現ができるように工夫されている。 ○「時代の特徴を考えるページ」では、『「ミニ辞典」の作成』や『「ひとこと」作文』等を活用することで、深く思考・判断できるよう工夫されている。 ○「対話とまとめ図のページ」では、相互の関連や現在のつながり等に目し、歴史的事象に対する思考力・判断力・表現力を深める工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○中学生のキャラクターが発問や気付き等学習の手がかりや示唆を提示することで、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○人物コラムを多数掲載している。また「人物を通して時代をとらえる」では生徒が人物の伝記を作ることで人物を通して歴史を捉えさせる工夫がされている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入では、小学校の振り返りから時代を概観し、その時代を象徴するような資料を明示して学習の見通しをもてるように工夫されている。 ○章末では、時代や人物を比較し、「ひとこと作文」により、時代ごとの特徴を大づかみにすることで、学習を積み重ねて課題追究ができるように構成されている。 ○日本の歴史の特色は何かを捉えるために「調べ学習」や「対話とまとめ図」が設けられ、歴史に関わる諸事象についての課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の中心となる資料と本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料ごとに吹き出しを付け、資料を読み取る視点が示されている。 ○本文を補足し、発展させるための様々なカテゴリーの教材が配置されており、また、資料に通し番号を付け、見やすい工夫がされている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文等には、UDフォントが使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題が示されている。 ○見開きで学習している時期を示すスケールが入れられている。また、地理や公民の学習と関連が深い内容には、関連マークが付けられている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○全体を通して、「もっと知りたいコラム」が掲載されており、その時代の人物や時代背景をさらに掘り下げることで理解を深めることができるように工夫されている。また、高等学校の歴史学習につながる教科書として中学生の学習として必要なことが多面的・多角的に身に付くように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい日本の歴史</h1>	227 育鵬社
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されている。資料活用のコラムもあり、知識を深める工夫がされている。 ○「確認」・「探究」では、学習した内容を整理し、習得した知識を表現しやすくなる工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見方・考え方」のコラムでは、グラフを読み取る力や論述する力を高めるため、発問の工夫がされている。 ○「資料活用」では、資料の特徴をまとめる判断力や知識をまとめ表現する力を養う工夫がされている。 ○章末「学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、時代の特色を自分の言葉や図で表現する学習活動が設けられている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章の冒頭に時代の流れを大きくつかむための「歴史絵巻」を掲載し、学習する章のイメージを視覚的につかめるように工夫されている。 ○「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では、生徒自身が博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考え、時代の特色がつかめるように工夫されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○見通しをもちながら学習を進めることができるように、見開きごとに資料を使い問題解決できるような学習課題が明示されている。 ○各章冒頭の「○○の世界へようこそ！」では、課題と主体的に向き合うための設問が設けられ、歴史に関わる諸事象についての課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 ○巻末「歴史学習のまとめ」では、学習した内容を活用して、日本の歴史を大観し、表現する学習活動が設けられている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習の導入となる写真資料や関心を高めるための地図が大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。導入資料には発問を付け、資料を読み取る視点が示されている。 ○「日本の美の形」「歴史絵巻」等のページは、生徒が視覚的に興味をもって取り組めるように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○図版は、色覚特性を踏まえた判別しやすい色が使用されている。 ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習のまとめの二つの課題が示されている。 ○各章の章扉に「歴史絵巻」「歴史モノサシ」が掲載され、歴史の大きな流れと現在の学習範囲が確認できるように工夫されている。 ○本文は敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A B判が採用されている。 ○教科書全体を通して、問題解決型の学習を実現する構成となっている。1時間の授業や単元の流れで、「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という流れが示されており、主体的・対話的な学びを通して学習の定着が図れるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1>ともに学ぶ人間の歴史</h1>	229 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 学び舎 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されている。欄外には資料の補足があり、理解を深める工夫がされている。 ○「章の扉ページ」では、知識・技能の定着を図るために、ポイントが絞られ、歴史的事象と地理を結び付ける工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「歴史を体験する」では、体験的な活動を行うことで、思考力・表現力を高めるための問いが設けられている。 ○「章をふりかえる」では、学習した歴史的な知識を表現できるように、設問が用意され、知識を活用できるよう工夫がされている。 ○「部の学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせ、各時代の特色を考察し、深い思考や表現につながる工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章の冒頭では世界地図中に学習する時代の各地の様子や遺跡の写真、資料を掲示して、時代の概観を見渡して学習できるように工夫されている。 ○指導的な人物の紹介だけではなく、様々な分野・階層の人々の生活、社会的な業績を叙述し、市井の人々の労働や生き方を学べるように工夫されている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入として、扉ページで各時代の「学習課題」が示されており、世界地図、写真等の資料から、時代の特色を考えていく構成になっている。 ○現代史を充実させ、歴史を今日の課題と結びつけ、よりよい社会の実現に向けて考え、公民学習につなげられるように工夫されている。 ○現代史の学習では、21世紀までテーマを設定し、歴史的事象を今日の社会と結びつけ、よりよい日本の社会と世界の実現を視野に、様々な社会の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○見開きの上部に学習意欲を高めるための導入資料や本文と連動した資料が写真等で大きく掲載されている。 ○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料には、出典や所蔵が掲載されている。 ○側注・グラフ・資料等から、歴史的な事象や課題について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○地図・グラフは、色覚特性に配慮されている。 ○見開きの見出し・資料名は、フォントを変えて表記されている。見開きに生徒の関心を引き出すタイトルと見通しをもつための学習課題が示されている。 ○巻末の年表では、日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教が世界の出来事と関連付けて掲載されている。 ○本文は敬体で記され、学年に応じた文章表現や漢字が使用されている。資料には、見開きで通し番号が付けられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面は、A判が採用されている。 ○全体を通して、疑問や問いが生まれやすいように図版や記述が工夫されている。また、主体的な学習を妨げないよう、本文の中の太字をなくす配慮がされている。歴史の中の女性に光を当てる、世界や東アジアから歴史を見る等多様な視点で歴史を学ぶことができるように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">国史教科書</h1>	236 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">令書</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○1 単位時間がそれぞれの単元により、2～6 ページとし、学習課題、本文、文献史料で構成されている。欄外には資料の補足があり、理解を深める工夫がされている。 ○巻末に資料がまとめられていることで、時代による地域の変化や芸術作品の違い等が把握しやすくなるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考えよう」では、問いを設定し、ヒントも記載することで生徒間の対話を通じ、思考力・判断力・表現力を育む工夫がされている。 ○章のまとめでは、文章を作成する問いを設定することで時代区分の特色を表現できるように工夫されている。 ○思考チャートを活用し歴史的事象を多面的・多角的に捉え、思考を深められるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○大まかに時代の概観をつかめるような章立てになっている。生徒がイメージをもちやすいようなイラストや記述が多く、歴史を体感的に学べるように工夫されている。 ○日本の歴史や地域史に重点が置かれ、参考文献や地域の特産品の紹介等、生徒が地域や日本の文化伝統に興味を湧くような工夫がされている。 </p> <p> <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各時代の導入では、学習の見通しをもてるように年表から時代を概観し、「政治・外交・文化・産業」の問いを示し、時代の特色を考えていく構成になっている。 ○「field work」では、生徒が主体的に課題を追究し、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ○巻末「ディスカッション」では、これからの社会を築いていくため、自分たちには何ができるかを考察・構想し、様々な角度や立場、多様性を踏まえた社会の成長を構想することを促すように工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○1 単位時間ごとにコラムや文献資料が掲載されており、探究的な学習がしやすい工夫がされている。 ○毎時、学習課題が提示してあり、思考を促すための様々な形式の「ヒント」が明記されている。 ○天皇の継承図、世界王朝の年表、時代ごとの政治史や美術史等が一覧になっており、分野ごとに見やすい工夫がされている。 </p>	
表記・表現	<p> ○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見通しをもつための学習課題が提示されている。 ○章末の年表では、日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教が世界の出来事と関連付けて掲載されている。 ○本文は敬体で記され、開きごとに重要語句の解説が付いている。 ○読書する楽しみを提示するため縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」が用いられている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書の紙面はA5版が採用されている。 ○歴史の連続性を実感できるように配慮されている。また、縦書きを採用しているので、教科書として歴史の真理を追い求める姿勢を育成する視点と、読書をするような感覚で歴史を楽しく学べる一冊の本という側面もあり、様々なアプローチで歴史を捉えることができるように配慮されている。 </p>	

社会科（歴史的分野） 調査資料2

○内容別ページ数等 ※教科書に記されているページ数の内訳を数えたもの

内容		東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
A	(1) 私たちと歴史	10	24	6	3	4	7	12	6	9
	(2) 身近な地域の歴史	16	7	6	13	6	4	10	2	3
B	(1) 古代までの日本	40	39	46	44	46	50	40	44	102
	(2) 中世の日本	32	35	42	38	40	36	32	32	64
	(3) 近世の日本	44	47	54	50	50	44	50	50	86
C	(1) 近代の日本と世界	93	105	113	99	103	105	85	109	142
	(2) 現代の日本と世界	29	34	31	29	33	32	35	35	49
その他（資料ページ・索引）		23	7	16	12	25	25	28	21	7
総ページ数		287	298	314	288	307	303	292	299	462
QRコードの数		135	18	58	29	146	0	7	0	1

※総ページ数は目録に記載されたページ数

○基礎・基本の定着

(1)取り上げている主な歴史上の人物数

	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
古代まで	32	39	35	55	40	40	49	35	115
中世	67	85	79	110	65	65	56	34	85
近世	108	91	53	94	62	62	38	39	123
近代	101	94	85	93	70	70	71	40	115
現代	24	61	56	51	34	34	17	92	41
合計	332	370	308	403	271	271	231	240	479

(2)我が国の歴史的背景として取り上げている世界の歴史のページ数

	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
古代まで	10	12	10	12	12	10	8	16	15
中世	4	4	0	2	0	4	4	4	8
近世	4	8	6	10	4	8	8	12	5
近代	32	26	28	32	24	22	24	36	18
現代	4	6	8	6	10	2	4	8	11
合計	54	56	52	62	50	46	48	76	57

(世界の歴史を中心に構成されたページを数えたもの)

○言語活動の充実

(1)各時代を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現する学習

東書	○各章：○○○の学習をふり返し、まとめよう（確かめよう。/ふり返ろう。/節の問いを解決しよう。/探求課題を解決しよう。）
教出	○各章：学習のまとめと表現（○○の時代の移り変わりを確かめよう。/○○の政治や文化について説明しよう。/資料を読み解いて、○○の時代の特色を考えよう。）
帝国	○各章：章の学習を振り返ろう（節の振り返り/「章の問い」に対するあなたの考えをまとめよう。/「これからの社会を構想しよう」への準備）
山川	○各章：まとめ（節に対する問い）
日文	○編の学習を確認し、「○○○」の特色をつかもう
自由社	○時代の特徴を考えるページ 対話とまとめ図のページ
育鵬社	○各章：学習のまとめ（○○○の時代をふり返って考えてみよう）
学び舎	○各章：第○章をふりかえる/学習のまとめ/歴史を体験する
令書	○各章：まとめ学習（古代：表/中世：年表/近世：新聞/近代：ディベート/現代：ディスカッション）

○社会に参画する資質・能力の育成

(1)身近な地域の歴史を調べる活動（具体的な事項）

	内容
東書	「地域の歴史を調べよう」（大陸への玄関口 福岡/藩の政治と産業 会津/幕末を生きた先人たち 福井/明治維新のまちづくり 新潟/被爆建造物の保存と継承 広島）
教出	「身近な地域の歴史を調べよう」（東北地方の歴史を調べよう/中世の要塞都市を歩こう/沖縄の歴史を調べよう/北海道の歴史を調べよう/建造物から時代の特色を考えよう/移り変わる戦後の街を訪ねて）
帝国	「歴史を探ろう」（東アジアに開かれた窓口 博多/琉球とアイヌ民族の暮らし/昆布ロードと北前船/世界有数の百万都市 江戸/世界に開かれた港 横浜/移住と開拓が進む北海道/「絹の道」と日本の製糸業/発展する産業都市 大阪・神戸/長野県から見る満州移民/戦場となった沖縄/日本の領土確定と近隣諸国）
山川	「地域からのアプローチ」（奈良/福岡/平泉/金沢/札幌/広島）
日文	「出かけよう！地域調べ」（史跡見学に行こう 平城宮跡を歩くー奈良県奈良市ー/歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べるー広島県福山市ー/城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べるー兵庫県姫路市ー/近代にかかわる遺産を訪ねよう 手宮線跡地から町の発展を探るー北海道小樽市ー/戦争遺跡を訪ねよう 多摩地域の空襲を調べるー東京都立川市・東大和市ー/地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べるー福岡県北九州市ー）
自由社	「調べ学習のページ」（修学旅行で行く 奈良と京都/日本人の名字の由来を訪ねてみた/歩いてみよう！ 江戸の町/日本の近代産業発祥の地 長崎/原子爆弾の被害を考えよう！/新幹線の歴史を調べよう）
育鵬社	「地域の歴史を調べてみよう」（大阪の歴史・ワクワク調査隊/横浜の歴史・ワクワク調査隊）
学び舎	「地域の博物館で調べる」/「歴史を体験する」（地域の歴史を歩く/一人ひとりの歴史・家族の歴史）
令書	「field work」（身近な歴史を年表にまとめよう/展覧会に行こう/市町村歌を調べてみよう）

○埼玉県の歴史的事象 ※資料の出典が、埼玉県内の博物館等に所蔵されているものを含む。

	内容
東書	埼玉古墳群／金錯銘鉄剣／ホフマン輪窯六号窯／吉見百穴／見沼通船堀／ワカタケル大王（武）の名を刻んだ鉄剣（稲荷山古墳出土）／男衾三郎絵詞／長善館（川越藩校）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／1号機関車（鉄道博物館）／秩父事件／増税に泣く国民（さいたま市立漫画会館）／旧国名地図（武蔵）／
教出	稲荷山古墳出土の鉄剣／男衾三郎絵詞／木の桶を作る職人（「職人尽絵」喜多院）／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／増税に泣く国民（さいたま市立漫画会館）／渋沢栄一／原爆の図（丸木美術館）／昔の国と、都道府県の対照図（武蔵）／各地の主な遺跡・史跡・できごと（稲荷山古墳・鉢形城・菅谷館跡・吉見百穴・秩父事件・高麗神社）
帝国	稲荷山古墳出土の鉄剣／稲荷山古墳／男衾三郎絵詞／結桶師（「職人尽絵」喜多院）／主な大名の配置（阿部）／江戸時代の交通（栗橋）／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／鉄道と生糸の輸出（熊谷・秩父鉄道）／渋沢栄一／重税に苦しむ国民（さいたま市立漫画会館）／東京停車場の図（さいたま市鉄道博物館）／歴史の舞台を訪ねよう（武蔵・稲荷山古墳・秩父）
山川	稲荷山古墳出土鉄剣／古代の行政区画（武蔵）／後醍醐天皇の宴会（「太平記絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／
日文	稲荷山古墳／「獲加多支鹵大王」と刻まれた鉄剣（埼玉県稲荷山古墳出土）／男衾三郎絵詞／主な大名の配置（岩槻）／黒船を見物する民衆（「黒船来航風俗絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／渋沢栄一／秩父事件／100年ほど前の田園調布（渋沢栄一らによって開発）／国県対照と五畿七道／主なできごと・史跡・関係地（秩父事件・稲荷山古墳）
自由社	旧国名と都道府県名（武蔵）／稲荷山古墳鉄剣銘文／復習問題のページ地図問題1（稲荷山遺跡）／鍛冶職人（「職人尽絵」喜多院）／大名たちの治水（北条氏房の荒川堰）／江戸初期の主な大名の配置（阿部）／廃藩置県による新しい府県（入間・埼玉）／渋沢栄一／日本人のノーベル賞受賞者（梶田隆章）
育鵬社	人形埴輪（埼玉県大里郡）／稲荷山古墳から出土した鉄剣／男衾三郎絵詞／機織り（「職人尽絵」喜多院）／江戸初期の主な大名の配置（阿部）／宗門改め帳（埼玉県立文書館）／大工職人たち（「川越三芳野天神縁起絵巻」川越氷川神社）／各地の主な特産物（川越そうめん）／主な藩校・私塾と寺子屋の数（長善館）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／秩父事件
学び舎	稲荷山古墳出土の鉄剣／平城京までかかる日数（武蔵）／千早城に立てこもる楠木正成軍（「太平記絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／綿花の主な生産地（武蔵）／黒船を見物する人（「黒船来航風俗絵巻」埼玉県立歴史と民俗の博物館）／武州世直し一揆／廃藩置県（入間・埼玉）／秩父事件／歴史地図（秩父事件・稲荷山古墳）
令書	稲荷山古墳出土鉄剣銘／さきたま古墳・行田古代米カレー／和同開珎（武蔵国秩父郡）／廃藩置県（入間・埼玉）／渋沢栄一／我が国出身のノーベル賞受賞者（梶田隆章）／大名の配置 寛文4年（阿部）